フ

私

此

植

ゑた

5

旬

ガ

殘

せり

,

誤

デ

ァ

ッ

テ

欲

≥⁄

1

植

Z

た

h

多

分筆

粗

忽

デ

ア

ラ

『赭鞭會業軌

際が片か V ኤ ずら葉は は 八ゃの 辟。幡如 案を定とく な 伏音 h 見る夜や 字がた 治がへ ŀ 等対 動 **≥**⁄ ľ テ ል 片な終る 7 葉はに jν ガ 蘆き其る 此 多性: しゅを 辟 或繼究 案 云ないで ŀ 貶 ナ 波に ļ h **シ**∕ は 常っ生が 付 出 ケ IC テ 西にる 風がも 7 烈時の n 方 L Š ガ 葉 實 K 0 t 蘆き ハ 其 多 h 蘆さしかる 說 故。 0) ガ 正 葉はに 東が水が シ ŋ 邊` 早 吹ぎな 靡ら ŧ É Ť 流 てる片が V , 葉はに 水 な જ 1 爲 る あ 物 メ h 多 難だ = ī 出 波は ž 來 VC

ŀ 言 フ 方 ガ 刦 テ 僻 案 濱はテ 荻をア N

其 ナ 伊 ŀ ナ ľζ ヲ きと 蘆 調 勝 濱 勢 思 ッ = V ハ 荻 查 テ フ 云 居 南 フ 此 坪 洲 至 v **≥**⁄ 1 生 名 Ó 保 y 方 濱 ガ デ n デ 所 存 處 度 荻 伊 7 所 工 會 勢 VC 7 ガ 1 近 ッ N ハ 餘 名 世 法 タ ρV 7 郡 デ 蘆荻 史 IJ デ ゙ヺ 云 ` n ハ 堤 價 講 其 見 古 \mathcal{F} 蹟 フ = 防 遺 値 E ラ 名 村 ク ズ ン 植ゑた を設 出 ゥ 勝 シ 7 ナ 今 = キ 天 テ テ -け 神 津 居 7 世 1 デ Ź, b, 都 其 間 記 Æ jν = ッ > 念物 之 名 ァ " 村 近 テ デ 潮 萬 勝 ŀ v , 1 jν 云 水を塞ぎ、 農 誌 保 ヲ 處 葉 ナ フ ŀ 7 濫れ 耕 記 某 集 N イ 存 1 協 H 力 **≥** = 力 セ 1 事 歌 ラ テ 會 バ 持 間 モ ァ 昔 田 誰 地 = = デ 數 Æ 往 ブ 昔 ガ デ` Æ 7 jν V HT 神ャル n 此 作 ア カ ガ 古 生 Ó 更 此 世 風がコ 邊 は ٤ V jν H 末 繁 之のト = ガ v 圃 此 其 中 昔 句 伊いハ = " を Ø 邊 海 殊 カ テ 勢で古 開墾 = 邊 邊 ラ 蘆荻を植ゑた 何 更 居 乃の今 事 濱はノ 荻を學 せり。 デ サ , Ø ۲ \equiv 其 場 謂 實 テ ゥ 津 廣 此 處 折れる ヲ æ ユ :湊より 能 + 處 セ デ N 丽 遠淺 濱 客間 ヲ ズ 7 7 L 調 h て、 見 = 宿なれ n 荻 Ó 逃 此 ŀ 即 1 入江 濱荻 場處 ŀ ガ 將。所 7 云 チ **≥**⁄ 遺 為まず 研 ハ ₹⁄ フ あ IC 置 果 0 究 = シ 1 L て、 之 置 舊 ŋ デ 湾は シ シ ガ ッ 其 , 炒 テ テ 地 總べ v " 邊ベテ 眞 を 其 處 見 爾に其 ガ 力 **≥**⁄ 郅 存 生 早 持 約 ŋ ヌ v て、 ゙ヺ 岩 速 殘 ۲ 歌 主 ソ せ ハ 蘆 繁 **١**,٣ む Œ ガ **≥**⁄ ۼ 其 荻 心 7 ゥ ッ 能 畝 テ **≥**⁄ 名 步 力 0 テ " ィ L 其 • 說 ガ眞 誠 位 所 洲 ŀ 今 僅 な 面 處 ダ

香亭起草ノ 『赭鞭會業軌 則

富 太

牧

野

踉

紙

ゝ

躋

壽

會

業

物

ŀ

題

シ

テ

r

香 亭 起 草 , 一緒 鞭 會業 軌 則

テ タ 斷 テ ガ 同 其 香 工 大 侯 研 ズ 其 = 四 究 ハ 殿 文 詚 方 越 ヲ 樣 稿 ヲ 好 力 中 藝 觀 ラ 富 セ 7 ヲ ラ 珍 w V Щ 發 草 藩 ŀ レ 揮 其 奇 本 タ 主 用 其 草 前 **୬**⁄ 樹 タ 字 品 通 ヲ \mathbb{H} 蒐 中 評 串 利 Æ 1 會 保 K メ 或 デ 等 侯 = 1 何 疑 規 其 ハ 安天 畫 ン ッ 則 他 政保 デ ヲ 種 タ 工 得 年弘 ヲ モ Ŧ Þ 間化 之 1 タ **≥** 著書 デ 1 テ V ノ嘉 人水、 之 デ 今 ハ 其 名 ガ V H 當 ヲ ア 1 文 カ 寫 號 ダ ラ 時 N 之 ŀ , 生 デ 狀 御 肼 叉 セ v 自 屋 ヲ 況 シ 17 其 敷 見 ヲ メ 知 或 偲 道 春 1 w 御 館 ŀ ハ ハ 1 之 居 好 主 ン 誠 ガ 間 V # 人 = 深 爲 ヲ ば ŀ メ 研 ヲ ク 力> モ 殿 集 稱 = 鑦 /• 樣 之 メ 3 資 ガ テ タ V **≥**⁄ 草 ` 御 ヲ 料 7 感 侯 机 左 木 = 供 7 = 1 ٠, ズ 딞 ル牧 セ 植 前 ラ デ ガ 錄 評 物 獨 其 ス V 會 = タ IJ 當 趣 n ナ ۴, 喜 時 = 味 私 ヲ ヲ = ŀ デ 開 在 有 = ハ 曩 居 **୬**⁄ キ チ ッ

此 次 準 ラ 規 フ v 如 ŀ 則 タ 有 キ テ ハ 文 其 百 樣 字 嗜 礷 ガ デ 壽 菴 ~ 則論規成 ザ 會 ŀ 定則 ッ /~ 1 イ 主 テ フ 居 意 人 ŀ 書 ガ 目 w 1 ア = ネ先 浮 シ日 次 ッ テ此 テ ブ = 見百 其 躋 t 壽 ケ粒 ゥ V レト ガ 會 デ ド云 揭 ア ŀ モフ 其人 ゲ jν 云 素ハ テ フ 性何 會 7 ガ處 N ヲ 切人 證 モ 分デ 1 ケ ラ叉 會 ヲ ナド カウ 此 1 ッ云 規 = タラー 則 若ヵ載 ハ シト シ 知其 シ ラ道 タ 切 レニ 萬 タ委 デ 香 御シ ア 亭 方キ が白 N 1 ア井 起 レ光 草 ソ バ太 御郎 3 セ 敎博 テ ラ 示士 此 V 下二 サ海季 タ 壽 赭 鞭 會 ソ 會 主 業 **≥**⁄ 意 軌 テ 書 其 則 表 ハ

我 躋 先 キ ス 東 壽 進 テ 方 躋 功 會 敬 是 業 百 年 規 會 3 ŋ 來 號 大 物 微 ケ ナ 產 意 鑒 , n 學 定 ハ 1 ナ 行 方 シ ハ 予 ヲ V 學 齝 テ 今 11/1 耳 順 ヲ ン

盛

ン

ナ

IJ

ŀ

ス

鳥 事

獸

胂

介

石

眞

ヲ

分

能

ヲ

辨 17

3

ヲ

壽

嗒 苯 識

百

者が ハ 世ョ 其ッ , 人に = 乏ポシ シ 力 ラ 不炎 F. モ 其〃

時。 赭岩

鞭會

業

メ則か

ヲ

ス

w

3

ŀ =

ス

會

業

規

則

ハ ナ

萬

香

亭 晚 +

, 暮

約

東 ガ

= ラ 僞

遵 此

> ッ 道

テ

纖

芥 IJ 毒

モ

私

見

ヲ Ŧî. 民

加 輩

^

ズ

是 ヲ =

亦

近

ク

間

暇

無

n

= 木

因 鱗

テ

ナ 1

= チ

入

月

Ξ

友 域

招 躋

丁列机

容陽す

う明ま

IJ

文ブ

物。

日常

熾カン

=

≥⁄

テ

赭や

鞭災

學ガ

嗣常

デ

而為

₹⁄

テョ

興之

斯□

業中

ヲ

り揚さ

ス

jν

1

一會業プ		_				_	ノ リ 不ぜ 用 ミ ノ 君 シ 其 × バ ヲ 務 * 相 エ 子 * ノ 真 シ 碑 タ メ ヒ ,
^{乗ャ} ノ ^ゥ 第 期 ₊ 七	第六	第五	第四	第三	第二	第一	幸が真シナケット・白が
日ッ ノ ニ 日	プ目	カノ日	「 フ 目	一ノ目	一フ目	ノ 日	斯ラ失シ 不さピース ル 朝き ヒー 鉄ラ 四シ 殊これ
致え							則炎 其ッニー 方分 ニ 紫例と ヨーフ・カン・ア・フェー カン・ア・フェー
がえた。							守る要。二 民 ラ ラ ア ス
シカン服	草 木	人 類	生草	金石	種物	鳥獸	バ 忘え事: 救る 赭ギスル 庶 ルッニ ヒ 鞭ジル 乎 抑 斯 湾 ノ ニ
サゲメリカナラズキソケ		水火土	木			蟲魚田	デャがり 期で 落る ノーニー 一
ヨッ		٦.				甲介	展す 何な 役を 在が品と リッキ 働い アット かい 何い
守監ナ							本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本
ル事。							ツァ 徒々 是でいる。 ツァ 徒々 是です。 英々 キューラット
クァカランク							
シップ スル							何ェイ ミ ジェー・ エー・ スマック はとり言てテ シ
事。							其り致タ 事。 シ゚゙゙゙゙゙゙゚゚゚゙シ゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚
ショ							ノストト テラカコス が変に シー・シー・シー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
シ							マラ 大 ハ 不事 ラ サース アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・
テ 且 濫 ナ							サウンティート ファット サランコト ファット ファット ファット ファット ファット ファット ファット ファッ
レンド							ヲ ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
を ・ ス							ト ヲ 滔トラ ヲ_ ラ
ト 雖1							ルタバカ雌=
ド モクワシ							
何〉 カ ラ							双尾 ピカノトン アーカラグ
不 ズ た。 を、							シ 皆 精っ 國ッパ譚ギ

う奇キ 品を 鑒+ 致な者 雖二 致 是是 匣分 ヲ チ ŀ ス 不がき器キ 俟み ŀ" *和ヮ 毎ざ ス ス ス 開き、 が異く 所言漢か 所 日音 衆シ テ モ N w N 所 所旨 キデキを 其ッ 事动物。 ノーラ原ションランイン 設っ 評分 歷家 勿がよい 品と 論 3 7 j シ w マッタ Ł 所計 品ジ ナジ家カナ 7 致な 物ップを産サ 定が テ 詰ヅス珍ン 後年 物 例が地チャン テ ク ラ 觀; ス 唯祭 所旨 問いずニ N"X 名為真 不ず n N テュ係ル 須が 是に情な 事。 單之 此解释 ハッ ヲ 110 U 壁ェ ノガラカナラフィッション 研べり實ッ 帖を クラ 1 知シ 恕な ŀ 事品 壁シナ品と 事勿かか 雖べ 便! 徧? キ テ ヲ = N = 若シ 贋さ キザを物で ŀ, 識シ ヲな 投罩 = 益井 吐六 ŀ. **≥** 匣ゲ # 知シ **≥**⁄ 折す若モ 在アポレ モ 雖べ欠ヵ ŀ 無ナ リーマール 名社 折っ 作る 露っ 之。 F. 単に IJ シ ク w **୬**⁄ 者が 火に其ツ モッ者が 者が 是、 帖ま 姓き IJ ν **≥** 若シク 事 蓮ポッシナジナ品: , 為士 ヲ 贋; ノス テ ٠, ヲ = ヲ 致。 必ヵ 投げるなかり 相ァ 附っ 以为 3 勿 IJ モ ラスサ軌きを種立 ズラ 贋っ 是是 記+ 火出 1 Ŀ V テ 隠っ 告が 尤岩 致る テ = ヲ **୬**⁄ 係ル 捻 投点 定る 以。 L **≥**⁄ ス Ξ ス 所。 事。 ジ 守章 テ 知シ テ テ ŀ ヲ ŀ 真* 以影 之記 ラ テ 爲ス IJ ヲ # 致為 ŀ 以表 戒》 ハカ 勿力力 トイツワ 爲、得ゥ 不ザ テ ヲ 其ッ ス ŀ 丸質 試 則拿 テ 爲ナ , テメ ヲ 唯學 其ッ n N v 濫火動き 之記 是プリ 事。 モル 者が ŀ L 必力 四湯 大賤さ 作 ズラ ヲ ヲ ヲ 他〃 勿力 ハ べ 🎣 則 🤈 五% へ 製物 多シスク 之記 武沙軌 似= 問ト 3 ヲ v ŀ ŀ 『什ざ 戒さ ヲ <u>ہ</u> ہے メ別グス為ナ Ŀ L ス 爲ス テ 或, 真分 匣? 壁ャ メ クリ n N ŀ jν 而力 ₹ 事。 定紊 爲スタ温ラ ヲシ 1 テ キキ = = シ マステク 非 及 知シュ縁エ 中京為胡言 折ぇ テ 勿力 テ ルザ ジョングン ダ亂ご 非上步軌卡 故。 = ŋ デ = 陳ッ 火に自ま 投员 285 メリク ヲ = ハ ナ = 陳ッ ッ鑒クォ爬ハ N ズ 子 在, ス = *>*\ ŀ 投资真实 次半 *定デサ羅ラ *者が 設っ 爲ス ŋ 予 N 或让 ズェ贋が 事品 是。 n' ス疑キ ヲ 業似ッ 逐ョ 辨》,抉分 事品 w 的。 ヲ *>*\ 勿ま ヲ サ軌+テ淙シ 事。 フ ニョ ラニ V ス **≥**⁄ 禁禁則沿跡等 是に 識り 沙罗 テ 勿ヵ w 相ァ ヲ 事。 ヲ 可べ 其ッ ズ V N ŀ 必力 爲ス叙ノ 者が 翅炎 ヒッ軌き 力 1 遞が則が 學書 ニヮ ラ べ ズ 力 古。 K_{μ}^{\sharp} 煩ッ IJ 其ッ ヲ = ナ ŀ 者。 然れ為ス 在ァ 餘。 **シ**′ 1 n 人片 者 テ 有ァ キ リメ不ポ 事。 唯二 今年 後ハ テ IJ 知, 後ょ ユ許^キョ 然为 ヲィトス チュ ナ テ 廼六 シ可カ F y n

非。

ズ

ス酣暢っ

ヲ

楽り

ム

Æ

非

ブヵ

要が

物尘

ヲノ

知シ

N

=

右 かり 石 メ ション・ 単い アンフェルチ

記が

シ

畢え

ラ

バ

之記

ラ

捻對

テグ

丸尖

テ

ヲ

1

n 事。

匣分

中力

治学をマラルを

ラ 葛

=

ス

= ŀ 其ッ 作な

1

品と 之記

題

ヲ

以影

テ

3 =

テ ズ

如言

シ

以型 投员

識が

根 ŊŸ

ない 実品・甲或 アレノシナマング アファン・アファング アファング アファング アファング アファング アンチャウ

香亭起草ノ 『赭鞭會業軌則

3 某物が対する 不業ノ 調ッパ 關和 印 度 或 1 則分 ナラ 左並 ラ ノハ 1 不明 名漢 如於 和 w 事。 3/ ヲ 恐っ

> w 是に

ヲ #.軌ギッ

刻り

爲ス

和或 繭印 度或

某品が

儀* 式で 姓名な = 前三 ニッハ表 具ヶ私徳 ナ 鑒ジ ŋ

トジボン 冊サッシ ŀ 作さ テ 以。 テ 一参考 = 備光 フ 其ッ 1 則分 左サ 1

約かけか設やサンファビャン 守モュハニー デ滋ジ 在京味: リイラ 約ず事は = ŀ 始党 ス ルリ泰ニュナル無レタ 三終り會業中ニシナカズラへキャウナカゴロシナカズラへキャウナカゴロシール・ステン・カナラズ

是-

日と

1

某パ 名テ 某物

支和 那名

ハバ

某某印和

度關

ハハ

某某

ミャッパラ 1

在ァ IJ リ要真 衆評論 **৵** ^ដ ヺシ N 事ったナカ テ 止。 フ = L v 事; 在ァ 古。 IJ ズ ソ業ヲ卒ヲ 今シッ菲ドク

通。

弊行 和ヮ

海漢一轍

リ今是會業ハ

口言 禦さ

腹力 グ ヲ

ヲ 養サッナ 取。

ラ n

ŀ

為ッイェ

ヲ ナ

矯メ

メ轍ヲ改

ム

約岁

ニ非バ能

ヲ

崇ビ

ピカナラ

ズ の 寡品

ヲ

ジ

重

唯刻ま

ヲ

是ご 因。 緒さ 不ズ 鞭ジシ 之記 簡カ テ 家が道 = -= 非, 由記 ハッド IJ ヲ メン 卒さ 是に 不ズ V 是記 君ク 者ララ、 子氵 藏岩 ヲ 以ず タ ス デ 力 n w 設。 Ť ラ Æ 不べ以影 饌さ 1 テァ ŀ 8 相談非 爲セ 深力 誇りき薄々 不さ 7 愧タ 夫ッ 品; 耻争 v ŀν 物き n テメ 故!!! 朝+ ヺ゚゚ゞ則ゟ 誇って重き ノ貨ウ 1) ス 伐ボラ n 出答 者が 俗》 勿ず 論に 士》 テ ナ ノ 事; IJ Ł 無力 難る = ン **≥**⁄ ヲ 者が 募り テ クワイギャ y 争, 借力 ノゥ テ フ 中カカ 髪が テ 得力 = : セ 難矣 3 シ 赭や テ ヲ 鞭、 止。 致。 之, Z, ス 事。 要引 = Æ 在, 職品 國プ ij 是に 用品 **୬**⁄ 斯カ ヲ テ =

明华右 ニラカ 建》 利リ ノ 析っ N ゴ ス 保 所記 レ ŀ n キ = Ł ハ 其ンサ朝サ 1 在7 年 弊! 歳む 刻 ŋ L 次ニュ 國アクカ 之。 衆シ ヲ 民》 丙ネ ヲ ヲ フ ·齊2 申》 守り 事; 用。 孟やトウトウ 勿力力 ヲ テ 碑》 易立 在, V 語章 ŋ ケ w 家職が 事。 四シ = 云红 無力 方ウ ク " ン セ 民 君グ 不ズ ハ た。 ヲ ŀ 雖红 チガック 利リ ハ ・ア 争ラッ フ ١, ス 堙ご jν モ 海グ 所計 亦家 = 於す セ п 庸な 無か ティ 何 N 未がカナラ 11 モ ゾ 今に 傷 1 シネ ハ 7 以意 會才 Æ 小了 業サー テ 4 達タ 同点 オディ 盟人 於え **≥**⁄ 真シ テ 1 Ł 君 贋ガ 無力 æ 亦。 子的 ン 斯力 テ 云ィ ۱۴ ア フ 1 ラ ジ ゴ 能分 ズ ŀ 毒片 キ ŀ 云约 1 ハ 式ガラ 態が 爾台 コ ヲ 作ナ ŀ 無ナ ス 事。 ク 疑# 勿力力 似》

 ν

知 春 館 主 人 撰

≥⁄

1

ヲ

サ

V

Ø

=

ŀ

白

鬚 ŀ 野 横 Þ 云 Ł 本 藥 莖 云 ガ 冒 Ŀ 圃 ガ 葉 同 圖 册 知 争 纂 ジ 7 春 館 ク ヲ n 貫 即 は ŀ 主 ž ŋ 同 チ 人 樣 草 E 萬香 葉 1 ナ 木 ヲ Æ 穿心 形 , 如 態 デ キ 前 7 ヲ 形 ŀ 田 品 n, 狀 云 利 ラ Ŀ 表 例 \equiv ŀ 侯 裂 ヲ ۱ر 擧 フ ス ス 草 語 n ナ 木 F モ ヲ = 支那 種 1 ハ 關 葉 ヲ \tau \equiv ナ 1 1 種 名 本 羽 椏 Ż 草 稱 狀 ŀ 書 ヲ 云 ヲ 書 舉 ナ Ŀ = Ξ 據 ス 著 其 小 モ テ ハ 書 例 葉 ヲ キ ガ デ 成 排 列 示 n 生 ネ ガ テ ŀ Æ タ 其 7 云 Æ 中 デ n Ŀ 1 卷 か デ 鬚 な J 本 度 草 r 服 徵 1 jν 部 解 葉 忠 Ŧ 範 ヲ 題 如 1 有著 ス

云

フ